牛久市 農業委員会だより

2017年（平成29年）
第32号

発行所　牛久市農業委員会
住　所　牛久市中央3－15－1
電　話　029－873－2111(代)
再生紙を使用しています

ＪＡ竜ケ崎　下根農作物直売所

10時開店の直売所には新鮮な野菜、加工品、花卉、米など豊富に品揃えされ、
お客さんも楽しみながら買い物しています。

主な内容

会長挨拶…… 2
農業委員視察研修
女性農業委員研修
農家訪問…… 3
農業施策に対する知事への要望
お知らせ…… 4

地域の農業者の代表として

牛久市農業委員会
会長　山越康義

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平素より牛久市農業委員会の業務運営にご理解とご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

さて農業・農村を取り巻く情勢は、日本人の米、野菜の消費量が年々減少している中、昨年の天候不良による野菜の小売価格高騰や、次期米国大統領がTPPからの離脱を表明するなど先行きが不透明な状態で、農業の活力が低下してきている状態にあります。また、農業委員会等に関する法律の一部改正が昨年施行され、牛久市の農業委員会は、平成29年7月20日より改正法に基づく、新制度農業委員会へ移行します。農業委員の公選制が廃止されるなど、農業委員会の組織と制度は、大きな転換期を迎えています。

このような状態の中、農業委員会といたしましては、今後も視野を広くし農業の動向に注視しながら情報収集に努めるとともに、地域農業の発展と豊かな農地を守るため、担い手への集積、遊休農地の発生防止解消対策、無断転用の防止など生産基盤である優良農地を確保していくため、農業委員が一丸となって取り組んで参る所存でございますので、皆様におかれましても農業委員の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

農業委員視察研修

♪花の山形紅葉の天童チョイチョイ雪をながむる尾花沢ハァヤッショマカッショ♪でなじみのある花笠音頭発祥の地、山形県尾花沢市農業委員会をたずねた。「雪とスイカと花笠の町」をキャッチフレーズに奥羽山脈出羽丘陵などの山々にかこまれた県北東部に位置、盆地を形成。昭和34年一市四村の合併時人口三万四千人現在は一万七千人。面積は牛久市の約七倍の三七三平方キロ。

「農業人口の高齢化」、「耕作放棄地の増大」、「担い手不足」の課題のほか組織、女性委員数などについて意見を交換した。

日本一のスイカは東京、大阪、遠くは広島県まで出荷、六四万ケースで金額は約二十四億円。農家は三百二十戸、耕作面積三百五十ヘクタールに達し、スイカ農家と育牛農家は後継者も育っているとのこと。日本三雪といわれ2・5メートルの豪雪地地域。いかにも肥えた黒土の緩やかな傾斜地の畑では4月中旬の雪解けを待って始まる作付けのための黒マルチ張りを車中から観ながら後にした。盆地特有の寒暖の差による糖度十二度のスイカ生産も秋からの準備と厳しい自然を克服した、努力の賜物である。委員の中に尾花沢スイカが市場に出るまでが勝負と懸命に生産した者もいて、熱を帯びた研修となった。

二ヶ所目の視察先は、大根を活かした六次産業化農家で中島委員の大根研究仲間で突然の訪問であった。十人もの従業員の方々が休憩していたが、多いときは二十人もの近所の方々が働いているそうだ。主に長野県に出荷。漬物にして六次化。適地適作でない大根でかつ大消費地から遠く離れた土地、働く場所の少ない地域の人たちを多数雇用して、頭の下がる思いであった。

女性農業委員研修

10月4日5日の2日間にわたり、関東ブロック大会が、群馬県前橋市で開かれました。

日頃、消費者として培われた目を持ち、6次産業化を行い活躍されている方や、たくさんのアイディアをもち、女性から農業を発信し、地域のリーダーとして活躍されている方々の事例活動の報告がありました。

又、12月6日には、ひたち野リフレにて、いばらき女性農業委員の会の研修が行われました。

農業者年金に加入しましょう 農業者の方なら広く加入できます

国が支える。安心が大きくなる
担い手 積立年金
「担い手積立年金」は農業者年金の愛称です。
加入の申し込み、お問合せは最寄のJAまたは農業委員会に！

1．農業者年金は、長い老後を安心して暮らすための公的年金制度です
2．「積立方式」の長期的に安定した年金制度
3．農業に従事する人が広く加入できる
4．認定農業者など担い手に保険料助成
5．80歳まで保証がついた終身年金
6．保険料が自由に選択できる（月額保険料２万円が基本）

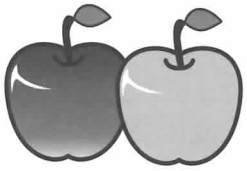
農家訪問

島田町でりんご園を営む長沼雅之さん一家は、妻の聡美さん、父の秀樹さん、母の玲子さん、祖母のしけ子さん、そして三人のお子さんの四世代八人家族です。

りんご2haの他にブルーベリー50a、桃10a、ヤーコン10aを栽培しています。低農薬を心がけて消毒はフェロモン剤も使用、下草は除草剤を使わずに刈り取り作業に徹するなど、安全安心な果物を第一にと栽培しているとのことです。訪問した当日、家族連れや老人施設の皆さんが大勢来園して、りんご狩りを楽しんでいました。雅之さんも両親やお姉さんと共に、笑顔でてきぱきと応対していました。

りんご園は、両親が平成元年に『自分で生産した物を直接消費者に販売したい。』と、それまで祖父母の代からの酪農経営から転換し栽培を始めたとのこと。それからは、この地に合う品種でなくてはと、木を植え替えるなど試行錯誤を重ね、現在は、ふじ・紅玉・秋映・陽光・名月など三十種千本を栽培するに至ったそうです。

若き後継者の雅之さんは今後について、「これからも直売スタイルは変えずに。そして温暖化に対処しながら、味が良く見た目も良い高品質のりんごを作りたい。その為には摘果作業に充分に手をかけられるように面積を増やさず、桃の栽培もやめて、主力のりんご栽培に労力を集中させて頑張っていきたい。」と、目を輝かせ抱負を語ってくれました。



「農業施策に対する要望」提出

9月30日、農業会議を代表して葉梨会長を始め各常設審議委員の方々と共に、いばらき女性農業委員の会会長中山委員が要望書を提出しました。中山委員は特に、6次産業化の推進にむけての要望をしました。

全国農業新聞

「全国農業新聞」を読んでみませんか。「全国農業新聞」は、農業の専門紙でわかりやすい農政解説、農業経営に役立つ情報を満載、盛りだくさんの内容が掲載されています。

★購読のお申込みは農業委員会事務局へ

発行日／毎週金曜日

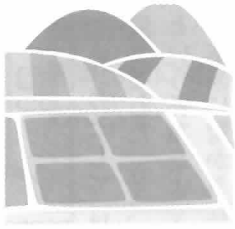
購読料／月700円（送料込）

農地を相続したときは
農業委員会への
届け出が必要です

手続きは農業委員会へ
お問い合せください！

農地の転用には許可が必要です。

農地の転用とは、農地を農地でなくすこと、すなわち農地に区画形質の変更を加えて宅地、道路、山林などの用途に転換することをいいます。また一時的に資材置場等に利用するときも転用となります。



お知らせ

賃借料情報

区分（10a当り）	賃借料標準額
田	10,000～20,000円
畑	3,000～8,000円

農作業標準賃金

請負作業標準賃金

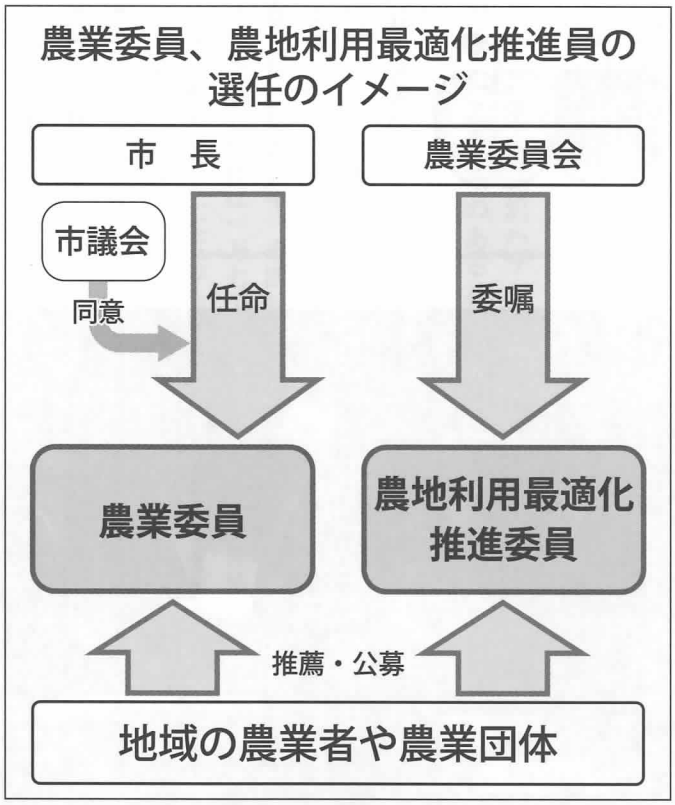
項目／作業名	単位	料金	備考
深耕	10a	10,000円	
プラウ耕	10a	6,000円	
デスク耕	10a	3,500円	パワーデスク
普通ロータリー	10a	5,000円	畑
耕起	10a	5,000円	田
代かき	10a	6,000円	
育苗	１箱	700円	硬化苗
畦塗り	1m当たり	35円	
田植え	10a	6,500円	条件により料金割増
育苗～田植え	10a	18,000～20,000円	
刈取り～脱穀	10a	16,000～20,000円	倒伏などの条件により上限とする
刈取り～調整	10a	30,000～35,000円	倒伏などの条件により上限とする（袋詰めまで）
乾燥～調整	玄米60Kg当たり	1,800円	（袋詰めまで）
籾すり	玄米60Kg当たり	1,000円	（　〃　）
麦刈り～調整	10a	22,000円	倒伏などの条件により上限とする（袋詰めまで）
甘藷マルチ張り	10a	10,000円	薬剤散布含む
甘藷マルチ張り	10a	5,000円	薬剤散布なし
落花生マルチ張り	10a	4,000円	
肥料と土壌改良剤の散布	10a	2,500円	資材の運搬は含まない 片方のみの場合は1,500円

農業委員と農地利用適正化推進委員の候補者を募集します

農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことにより、牛久市農業委員会は平成29年7月20日から新しい制度になります。新しい制度では、農業委員の選出方法が公選制から市長の選任制に変更され、新たに農地利用最適化推進委員が設けられます。

市と農業委員会では、「農業委員」と「農地利用最適化推進委員」について、応募または推薦により委員の候補者を募ります。

募集については詳細が決定しだい、広報うしくや市ホームページでお知らせします。



編集後記

十一月二十四日、十一月としては五十四年ぶりの雪が降りました。近年、「観測史上初めて」という言葉をよく耳にしますが、今回は本当に驚かされました。八月、九月には北海道を始めとして多くの台風が上陸、気候の変動も激しく、収穫期を迎えた農作物に大きな被害を受けたことで野菜全般の価格が値上がりし、家計にも影響を及ぼしています。毎年、平穏な日々が続くことを願いながら編集にあたっています。編集に協力して頂きました皆様には心より御礼申し上げます。

編集委員　中山みつい
〃　塩澤　和子
〃　石島ますみ